

平成25年度 始業式式辞

H25.4.5

今日からいよいよH25年度がスタートします。

3月19日の修了式から2週間がたちました。わずか2週間の経過ですが、今みなさんは学年が1つ進級し、1年生から2年生、2年生から3年生となりました。学年が変わった今が心機一転のチャンスですね。

さて、みなさんはこの春休みをどのように過ごしましたか。この春休み中にあった良いなと思った3つの話をさせてもらいます。

一つ目は、先日行われた離任式の時の話です。実はこの日には先生方だけで、送別会という会も行いました。そのなかで、転退職される先生方が口をそろえておっしゃってくれていたことです。それは、表現は違っても「柴川中に勤務できて、本当に良かった」という言葉でした。柴川中はみなさんにとって人間関係が良くて過ごしやすい学校だと思います。みなさんにとって過ごしやすい学校ということは、実はそこで勤務されている先生方にとっても勤務しやすいやりがいのある学校であると思います。みなさんは、「生活しやすい学校」という良い伝統を引き継いでくれています。

二つ目の話は、挨拶のことです。今ここに仲間入りをして下さった新任の先生方が、この学校に初めて訪問された時のことです。校舎の中を紹介して回っていて、体育館まで来た時です。部長の三尾さんを中心としたバレー部の人たち、部長の落合泰克君を中心とした卓球部の人たちが、新任の先生方にとっても大きな声で元気の挨拶をしてくれました。その他の部の人たちも、先生方が通った時に、明るい挨拶をしてくれました。その様子はとてもすがすがしかったです。「挨拶は柴中の伝統である」とみなさんも考えていると思いますが、日常の中でもこのように自然に行うことができたのが素晴らしいなと感じました。

三つ目の話は駕籠駅伝のことです。3月24日(日)に日坂地区で駕籠駅伝大会が行われました。休日にもかかわらず、陸上部のみなさんが参加してくれました。聞けば20年以上の歴史がある大会だそうです。その大会に中学生である陸上部のみなさんが参加してくれたことを、地域の方が大変喜んでくれました。議員さん、運営関係者の方、他の地元の方など「とても良いことだ、これからもぜひ参加してほしい」と大きな期待をよせてくれました。地域の人たちは、みんなを支えてくれています。同時によく見てくれています。そして、みんなの頑張りが地域にさらなる活気を与えることができると感じました。

このように、みなさんの頑張りを、先生方も、保護者の方も、地域の方も応援して、支えてくれるのが、栄中だと改めて感じました。

今年度の学校教育目標は昨年と同じ「学び合い やり抜く 栄中生」です。

3年生は自分の進路を決定する大切な1年になります。2年生も一つ学年が進級しました。自分の希望する進路を勝ち取ることや苦手な教科を克服したいという目標を持っている人も多いと思います。ぜひ、自分の目標を達成して欲しいと思います。日々の授業や様々な場面で、ぜひ「学びあって」ください。

また、部活動などで、昨年よりも良い成績や成果を収めたいと考えている人も多いでしょう。日々の練習が大きな大会でものをいいます。部活動だけではなく、日々の大変なことを最後まであきらめず「やり抜いて」欲しいと思います。

今日の午後は、入学式です。新しく栄中生の仲間入りをする1年生を温かく迎えてあげてください。よろしくお願いします。

それではみなさんの1年間での大きな成長を期待して、始業式の言葉とします。